

SEF News Letter

2026 | vol.97 | 2026.1



公益財団法人

Save Earth Foundation

新年のご挨拶



公益財団法人

Save Earth Foundation

代表理事 渡邊 美樹

旧年中は皆様からの温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。気候変動が世界に及ぼす脅威は留まることがなく、資源循環事業と森林再生事業に取り組む公益財団法人として、引き続き、循環型社会、脱炭素社会ならびに生物多様性に貢献していく必要があると考えています。資源循環事業では、ゼロエミッション研究会を通して「食品リサイクルループの構築と拡大」を最重要課題に据えて取り組んで参りました。2025年は福岡市、山口市・宇部市において、会員企業の株式会社資さんを中心とした新規食品リサイクルループの申請が無事に認定を取得いたしました。今後はこの認定を足掛かりに、より多くの会員企業の皆様とともに食品リサイクルループの輪を拡大できるよう体制を強化して参ります。これは多様な食品関連事業者が共同で食品リサイクルループに取り組み、業種の垣根を越えた画期的な取り組みです。また、新たな取り組みとして、農林水産省の補助事業を活用し、食品製造業から発生する未利用の惣菜を冷凍して寄贈につなげる事業を開始しました。これにより、食品ロス削減と社会貢献の両立を図る新たなモデルの構築を目指しています。廃棄物管理システム「SEF-Net」においては、125社3667拠点で導入いただき、廃棄物の法令順守と適正管理の仕組みを安定的に提供しております。

森林再生事業では、現在6地域646haで森林保全協定を結んでおり、各地域の状況やそれぞれの森林の状態に合わせた活動を継続して参りました。2024年に開講した「森林アカデミー」においては、2025年も多数の講師をお招きして開催し、企業がなぜ森林活動に取り組むのかを体系的に学ぶ機会を提供いたしました。これは、「企業の森」活動と「森林クレジット」を通して、森林再生及び生物多様性の保全を行い、自然共生サイトへの登録やTNFD開示につなげて自然共生社会へ貢献するほか、企業の価値向上につなげる取り組みです。こうした活動の成果として、2025年は「企業の森」への参加が7社1校に拡大し、森林クレジットは800トン以上を購入いただきました。会員企業の皆様とともに、生物多様性の保全に貢献する森林再生活動を大きく推し進めることができた一年となりました。SDGsの目標年度まで、残り4年となりました。美しい地球を未来の子どもたちに残していくためには、一人一人が地球環境の大切さに気づき、意識を変えていかなくてはなりません。事業を通して社会に影響を及ぼす存在になれるよう、SEFは、資源循環事業では食品リサイクルループの拡大と社会貢献事業の推進、森林再生事業では森林アカデミーを通じた森林再生保全を今年も精一杯取り組む所存です。

輝かしき新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

2026年 元旦

headline

事業活動報告

☑ ゼロエミッション研究会 開催

事業活動報告

☑ 森林アカデミー 開催 / 森林保全活動

ゼロエミッション研究会とは

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

廃棄物勉強会

11月20日(木)にゼロエミッション研究会の分科会として一昨年から3回目となる志岐理事主催の排出事業者を対象とした廃棄物勉強会を開催しました。26社51名の方にご参加頂きました。「廃棄物処理のからくりと循環型構築へ」と題して、志岐理事にご講演いただきました。



香川分科会

第4回ゼロエミッション研究会 香川分科会

11月26日(水)・27日(木)に、香川分科会を開催しました。11名の方にご参加いただきました。株式会社パブリック様にて施設見学を行い、中間処理・最終処分・跡地利用までを一連で学べる視察プログラムとなりました。

11月26日(水)

- 株式会社パブリック 本社 マニフェスト運用、適正処理のポイント、中間処理工程を見学
キエーロを活用した生ごみ循環
- 最終処分場の視察 飛散防止の覆土・覆材の運用方法、排ガス・排水処理設備

11月27日(木)

- 株式会社エコマスター ごみの資源化
RPF(固形燃料)の製造工程を見学
- パブリック自社ファーム 最終処分場の跡地利用
木材・竹林燃料を用いた炭づくり
(未来ロケットカーボナイザー)



- ①パブリック視察
- ②生ごみエキューロ
- ③株式会社エコマスター 固形燃料原料
- ④株式会社エコマスター自社ファーム
「未来ロケットカーボナイザー」

2025年度ゼロエミッション研究会 概要

【日程】● 第5回 1月29日(木) ● 第6回 3月19日(木)
【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大島居)本社
【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】・百瀬 則子氏 (SEF 業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
・志岐 秀明氏 (SEF 理事、株式会社アーベンベジ代表取締役)
・牛久保 明邦氏 (SEF 顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

森林アカデミーとは

当財団では、「なぜ今、企業に森が関わるのか」をテーマに森林再生活動の具体例や生物多様性への取り組み、森林クレジットによる脱炭素社会への貢献を学ぶ機会を提供し、参加企業が自社で「企業の森」活動を通して、森林再生保全・生物多様性保全を実践することを目的に2024年度新たに森林アカデミーを開催しました。

第4回森林アカデミー

10月16日(木)に今年度4回目となる森林アカデミーを開催しました。29社50名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。第4回はSEF理事／株式会社ウェストボックスの代表取締役、鈴木修一郎氏に「クレジット市場の動向と森林クレジットの活用」と題してご講演いただき、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の自然保護室長、山岸尚之氏に「ネイチャーポジティブに向けて」と題してご講演いただきました。

第5回森林アカデミー

12月18日(木)に今年度5回目となる森林アカデミーを開催しました。19社43名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。第5回は愛知県農林基盤局森林保全課あいち海上の森センターの高橋克巳氏に「海上の森」と「海上の森センター」の取り組み」と題してご講演いただき、環境省自然環境計画課 地域ネイチャーポジティブ推進室OECM推進係長の吉田宗史氏に「自然共生サイト支援証明書について」と題してご講演いただきました。

2025年度森林アカデミー 概要

【日程】 第6回 2月19日(木)

【勉強会 会場】 ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】 70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】

- ・大場龍夫氏 (SEF理事、株式会社森のエネルギー研究所代表取締役)
- ・鈴木修一郎氏 (SEF理事、株式会社ウェストボックス代表取締役)
- ・長野麻子氏 (SEF顧問、株式会社モリアゲ代表取締役)

2025年4月から8月の森林保全活動 2025年8月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数
9月	6日 日向の森	定例保全活動	15名
	27日 日向の森	定例保全活動	8名
10月	18日 日向の森	定例保全活動	8名
	8日 日向の森	定例保全活動	22名
11月	22日 日向の森	定例保全活動	5名
	29日 海上の森	定例保全活動	21名
12月	13日 日向の森	定例保全活動	14名
	20日 日向の森	定例保全活動	16名

2025年4月～2026年3月末までの累計

山武の森 174名 あいち海上の森 39名 丹波の森 6名

◎日向の森(千葉県山武市)活動報告

9月6日(日)、午前中は草刈り作業です。2カ月ほど草刈りをしなかったため、だいぶ草が増えています。植樹したサンプスギや広葉樹が育つよう、丁寧にツボ刈りしました。ボランティアの方が持参してくださった刈払機で、草刈りが大きく進みました。午後は、ワタミ株式会社や他団体から発注を受けている木材の納品用の材を選木しました。

◎海上の森(愛知県瀬戸市)活動報告

11月29日(土)、中部有機リサイクル株式会社、ワタミ株式会社、豊田鉄工株式会社様、アイコーサービス株式会社様、トリニティ工業株式会社様、一般の方3名、小学生1名、スタッフを含め合計21名に参加していただきました。ワタミの森見学班と、工作材料調達班に分かれ活動しました。ワタミの森見学班は、森で今までやってきたことの現地確認を行い、階段の素材を集めるために除伐など整備を行いました。工作材料調達班は、手のこでツルの除伐や工作用の材料集めを行いました。昼食後リースやネームホルダー作りを行いました。





SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2026年1月～3月の活動予定>

●千葉県山武市(日向の森)

1月10日(土) 1月17日(土)

2月7日(土) 2月14日(土)

3月7日(土) 3月14日(土)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

●愛知県瀬戸市(あいち海上の森)

1月24日(土)

2月28日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEF の活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
		賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
個人	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 		
	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation

TEL : 03-5737-2744

FAX : 03-5737-2793

E-mail : info@save-earth.or.jp